



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



城のご縁でまちづくり



今年新たな取り組みとしてスタートした「3都市4城サミット」。国宝当時の大垣城を模して再建されるとされる郡上八幡城と、大垣藩初代藩主の戸田氏鉄公が築城した尼崎城、そうした相互に関わりの深い郡上市と尼崎市とともに、お城を活かした観光まちづくりを進めようというものです。

6月30日に大垣公園城西広場で行われた連携協定式では、3市が協働して事業を実施し、都市間の観光振興と地域活性化を目指すことを確認しました。



また、同日午後に開かれた「大垣城ゆかりの城シンポジウム」では、滋賀県立大学教授の中井均さんが「戸田氏鉄の居城と國寶大垣城天守」と題した基調講演に登壇。続いて、女優の国生さゆりさんのトークショーも行われました。

その後のトークセッションには、郡上市長、尼崎市長、大垣市長らが参加。来年春にオープン予定の尼崎城や、郡上おどりなども含めた全国への情報発信など、それぞれの取り組みが紹介されました。

暑中お見舞い 申し上げます 平成三十年盛夏

＜市長＞ 小川 敏
＜副市長＞ 広瀬 幹雄

大垣市議会

＜議長＞ 石川まさと
＜副議長＞ 田中 孝典
＜議員＞ 近沢 正 中田としや
空 英明 北野ひとし
関谷 和彦 長谷川つよし
中田ゆみこ 粥川加奈子
日比野芳幸 山口 和昭
笹田トヨ子 石田 仁
川上 孝浩 岡本 敏美
丸山 新吾 岩井 哲二
岡田まさあき 横山 幸司
高橋 滋 林 新太郎

夏の風物詩 ひまわり畑

—今年も平町・ステージイベントも—



平町・ひまわり畑の様子(昨年)

大垣の夏の風物詩となっている休耕田を利用したひまわり畑。今年も、平営農組合により、平町の約2.7ヘクタールの畑に約12万本が咲き誇ります。見ごろは、8月中旬から9月上旬までの予定(天候によって時期がずれることがあります)。開花状況などは、随時、市HPで

お知らせしています。

また今年も、市制100周年を記念した催しも行います。

＜ステージイベント＞

*とき/8月18日(土) 午前10時30分～午後0時30分

*内容/地元の小学生らの歌の披露や、活動団体の発表など

＜夜間ライトアップ＞

*とき/8月11日～26日 午後7時～8時30分頃まで

詳しくは、農林課(☎47-8628)へ。



＜平町地内＞
面積: 2.7ヘクタール
本数: 約12万本

7月15日号 主な内容

- ▶国民健康保険などの自己負担限度額の変更、大垣暮らしのオトクな制度など...2～3P
▶耐震診断などの助成制度、募集・講座のお知らせなど...4～5P
▶水都っ子ウィーク、夏休みの催し...6～7P
▶催しのお知らせ、市民伝言板など...8～9P
▶健康ガイド...10～11P
▶市制100周年記念市民提案事業、水都まつり、すのまた天王祭...12P

経営者の皆さんには、「ガキビズ」を大いに利用して、企業発展につなげていただきたいと思います。



ガキビズ開設セレモニーで看板を設置

4月には、全国198人の中からガキビズのセンター長に正田嗣文さんが選任され、5月には金融機関等を対象に経済講演会が、6月には事業者を対象に開設記念のシンポジウムが開催されました。その中で富士市産業支援センター長の小出さんからは、「お金をかけずにビジネスの流れを変えるには」と題して講演があり、エフビズなどでの相談事例が紹介されました。相談者の話を真剣に聞いて、そこから強みを見つけ、それを生かす具体的なアドバイスを行い、売上増につなげてもらいたい。また、ガキビズの開所式では、正田センター長から「地域経済が活性化するように、中小企業の売上増で結果を出したい」と決意表明がありました。

昨年10月、「働き方改革」をはじめ、地域経済活性化を図るため、産官学金の連携のもと「大垣地域経済戦略推進協議会」が設立されました。この会では、中小企業の売上増に重点を置いたビジネスモデル型支援センターの開設を目指しており、静岡県の「富士市産業支援センター(エフビズ)」をモデルとして、「大垣ビジネスサポートセンター(ガキビズ)」が7月4日、情報工房2階にオープンしました。また今年に入って、地域の産業振興などを図るため、岐阜労働局や東海財務局と包括連携協定を結びました。

ガキビズの開設



市長のながき文彦 大垣市長 小川 敏